

## 10年後のありたい姿

### 若者の育成

- 皆が笑顔なまち
- 子供達が帰ってきたいまち
- 年長児に3つの体験
  - ①お茶を入れる
  - ②ごはん炊き
  - ③だし
- 三世代の活動をつなぐ（支える）
- 学校で農業（自然栽培）が学べる
- 学校給食がすべて氷見産、オーガニック
- 人口減に伴い、地域の人×子どもの距離が近くなっている。

### 環境

- 環境・雰囲気が良いまち
- 日本一自然環境の美しいまち

### 人と人を繋ぐ機会

- 挑戦できるまち
- 若い人が農業を支える
- 女性が中心のまち
- 10年後、20年後も続けられる後継者づくりと省力化
- 自治会の広域化、複数自治会の連携 公民館とか

### 食

- おいしいまち ○注目されるまち
- 本物を食せるまち
- 夜店の誕生（グル巡りの進化版）
- 本場思考、食の質の追求
- 野菜本来の味を知る
- イノシシブランドが確立されている。
- 町全体がオーガニック
- 氷見といえば魚のイメージを持続
- 日本一長寿のまち（健康）
- 飲食店が減らないで欲しい
- 食料自給率100%
- マリアージュを楽しめるまち

## 達成するための課題

- 食材の量
- 食費（予算）の高騰
- 食材の大きさが均一化できない。

- 家庭教育の充実
- 親の意識を変える機会の創設

## 10年後のありたい姿

### 住む（環境）

- 防災、助けあいの氷見となっていて欲しい
- 他所から通学できるような大学（専門学校）のあるまち
- 田んぼや森が美しいまま
- 農業を楽しむ人（趣味も可）が増え、農地が元気

- 2拠点生活の聖地となっている。
- 若者と女性がシェアハウスを共有する。
- 市内交通がすべてAIで無人化
- 別荘（レンタル）に何度も来てくれる人を増やす。
- 運転免許を返上しても交通機関で動けるように。

### 食

- ぶりが豊漁で“さかなの町”
- イノシシが特産品となっている。
- 氷見牛が増えて東京でも食べることができる。
- 氷見市民全員が魚をさばけるようになって欲しい。

### 達成するための課題

- 食育条例
- イノシシの加工場をつくる。
- 各家庭に魚を配る。
- 次世代の足をつくる。

### 観

- 海と山のサイクリング
- 氷見の海や山をながめるぼーっと人が歩いていてほしい。
- 体験型観光の誘致
- 氷見の特産品をうまく情報発信できるようになって欲しい。
- （定年になって働いていないはずなので）地元のおいしい物を食べて、穏やかに暮らせるまちであって欲しい。
- 氷見の特産品を求めて市外から人が来て欲しい。